

日本発ドイツ便り：夏のテレビ事情

ドイツでは、夏の間（7月・8月）テレビ事情が他の月と大きく異なります。日本ではまず考えられないことですが、何だと思いませんか？

まず始めに、ドイツには「公共放送」が2つあります。（ARDとZDF）日本のNHKは受信料のみで賄われているのに比べ、ドイツの公共放送は受信料+広告料で賄われている（なので、コマーシャルが流れます）、という違いはありますが、受信料の支払いが義務になっています。（2012年の9月現在の受信料が17.98ユーロ/月とのことですが、2013年には値上げして18.86ユーロになるそうです。）

答えは...圧倒的に「再放送」が増えること。☺
まあ、もともとドイツのテレビ番組って、結構謎で、

- ・ 色んな放送局で、同じ番組をやっている（ある映画が翌日に別のチャンネルで放送されてたりします）
- ・ 生放送の場合、勝手に延長されるものがある（スポーツの生中継とかなら分かるのですが、クイズ番組だったり、トークショーだったりするので、不思議です。）
- ・ 再放送が多い。アニメからものすごく古いドラマまで何でもあります。ドラマも日本のように「つづく」形式ではなく、基本1回完結型なので、余計に再放送されるのかもしれませんが。
- ・ 時間合わせのためだけに使われる番組があって、突然途中で終わったりする。

などなど、不思議な点を挙げればキリがないのですが、特に夏は、その傾向が高く、毎年のように、夏のテレビ事情がいかにヒドいかが新聞ネタになるくらいです。

誰が調べたのか謎+あまり新しいデータはないですが、過去の新聞記事を拾っていくとこんな感じ。他にも、「1か月でこの番組が〇回放送された！」的に一覧にしてある新聞記事を以前見たことがあるのですが、残念ながら、どこかわからなくなってしまいました。

2005年：ある7月の週末（金・土・日）の3日間で、ARDとZDFで再放送の番組が放送された総時間2669分（ある意味すごい！）

2007年：同じく865分（かなり改善？）

2009年：同じく1442分（またもや悪化？）

ちょっとその後の具体的な数字が見つかりませんが、どうです？すごいですよね？
旅行した時にしかテレビを見ない私でも「？これ何回か見たことある？」ってのに遭遇するくらいです。

この話題を一度ARD系列のテレビ番組を制作している友人に「なんでなん？」と聞いてみたことがあるのですが、「当たり前じゃない！7月8月は休暇の時期なんだから、だれも新しい番組作ったりしないわよ！」と大笑いされました。☺

そうだったのか！と妙に納得の反面、ドイツってすごい！となんだか感心しましたね。

ある意味ドイツの夏の風物詩。なのかもしれません。
多分この先も変わりそうにない、ドイツの夏のテレビ事情でした。